

薬メーカー、変わった？

桜花満開の中、春風が心地よい季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

新型コロナウイルス感染症や東欧の戦争：世の中は混沌（こんとん）としています。数年前から国内の医薬品の世界でもいろんな混乱が起きています。皆さまもご存じの通り、数年前から続く新型

コロナ感染症の影響で市場からマスクが消え、消毒液が品薄になりました。徐々に回復しましたが、現在でも処方箋に関わるお薬の供給には、かなり偏在が起きています。

最近、病院や薬局を利用された際に今までもらっていた薬のメーカー名が変わったことがあるかもしれません。

発端は一部の後発（ジェネリック）医薬品メーカーの製造、品質管理の不備による行政処分から始まりました。出荷停止や縮小により、その他の医薬品メーカーが同じ薬効の医薬品の安定供

給を図るため、出荷調整を始めました。

これにより、医療の現場では通常通りの購入ができなくなりました。医薬品卸は適切な流通を確保すべく努力していま



す。厚生労働省もメーカーに増産を命じて動いてはいるものの、現時点で3100品目以上の供給に影響が生じています。

病院や薬局では、必要な量のお薬を購入することが困難な状況が続いて

います。回復するには、約2年はかかると見られています。

そんな状況下でも、皆さまの健康に関わる大切なお薬であることには変わりありません。

医療機関も策を練り、皆さまが安全に安心してお薬が飲めるように日々努めています。しかし、メーカー変更などの申し出があった際は、ご協力ください。

暖かい春の日差しの中で、大きく深呼吸して万物の息吹を感じられますように。

（薬剤師 西 美香）

薬語 やまやま

[76]

松阪地区薬剤師会